

平成 22年 4月 28日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19530170

研究課題名（和文）LSEの公共政策論：20世紀イギリスにおける行政学的経済思想の系譜

研究課題名（英文）Public Policy Thought in the LSE : the Tradition of the Economic Thought of Public Administration in the 20th Century Britain.

研究代表者

江里口 拓 (ERIGUCHI TAKU)

愛知県立大学・教育福祉学部・社会福祉学科・准教授

研究者番号：60284478

研究代表者の専門分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済学説

キーワード：行政学・イギリス・LSE・経済思想・経済政策思想史

1. 研究計画の概要

(1) LSEの経済思想史の中での学派的特徴を、F.A. ハイエク・L. ロビンズの市場経済論でもなく、G.D.H. コール、H. ラスキの社会主義論でもない、「公共政策論」の系譜に着目し、主にウェッブ夫妻とその後継者を中心に究明することが本研究の目的である。

(2) 現代理論の主流となりつつあるアメリカの公共選択論とは異なる、イギリスにおける行政学的経済思想の系譜の存在とその特質を明らかにしたい。

2. 研究の進捗状況

(1) ウェッブ夫妻の行政学的経済思想の解明とLSE行政学との解明という課題については、十分に達成することができた。

(2) ロブソン、ベヴァリッジを始めとしたLSEの行政学・社会保障講座の後継者の行政学的経済思想のウェッブ夫妻との比較と解明については、アーカイブ調査を遂行できなかったことにもより、一部、不十分な点が残されている。

(3) 研究計画に理論的な深化が見られた。具体的には、LSEの行政学的経済思想は、ウィリアムソンらの新制度派経済学の源流であることが次第に明らかになってきた。このことと、ホールとソスキス 2001 年の社会保障概念との関連性についても知見が深まった。このことと関連して当初予定を修正し、LSEの社会保障政策とスウェーデン福祉国家のレーン・メイドナー・モデルの社会保障行政理論との比較、つまり戦略的福祉国家論の共通性についての研究を行うことがで

きるなど、新たな知見の展開を得た。

3. 現在までの達成度

① 当初の計画以上に達成している。

(理由)

LSEと新制度派経済学との強い関連性についての知見の深まりだけでなく、いわゆる成果の発表という意味でも、以下の3点にわたって、当初の計画以上に達成している。

(1) 第6回経済学史学会研究奨励賞を受賞することができた。

(2) 国際学会や国際雑誌（オーストラリア経済学史学会）にも研究成果を発表することができた。

(3) 単著を出版することができた。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 引き続き、研究成果を国際学会などで報告（7月にオーストラリア経済学史学会にて報告エントリー済み）する。

(2) 夏季にロンドン（LSEアーカイブ）に短期出張し、ロブソン、ベヴァリッジらの行政学思想と、ウェッブ夫妻との比較のための一次資料を充実させる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

①江里口拓, ウェッブ夫妻における「国民的効率」の構想—自由貿易, ナショナル・ミニマム, LSE—, 経済学史研究, 経済学史学会,

50-1, pp. 23-40, 2008 年, 6 回経済学史学会
研究奨励賞『経済学史研究』論文賞, 査読有
り

② 江里口拓, The Webbs, Public
Administration and the LSE: the Origin of
Public Governance and Institutional
Economics in Britain, History of Economics
Review, History of Economics Thought
Society of Australia, No. 50, 2009,
pp. 17-30. 査読有り

〔学会発表〕(計 4 件)

① 江里口拓, ウェブ夫妻のナショナル・ミ
ニマム論と自由貿易, 経済学史学会第 71 回
大会, 九州産業大学, 2007 年 5 月 26 日

② 江里口拓, 貧困と福祉の経済思想」第 4 報
告「19-20 世紀転換期における救貧法改革論
ーボザンケ, マーシャル, ウェブ, 初期ベ
ヴァリッジー」経済学史学会第 72 回大会,
愛媛大学, 2008 年 7 月 13 日

③ 江里口拓, The Webbs, Public
Administration and LSE: an Origin of
Public Governance and Institutional
Economics in Britain, paper presented at
HETSA2008(History of Economic Thought
Society of Australia), Western Sydney
University, 13, July 2008.

④ 江里口拓, ウェブ夫妻とスウェーデン・
モデルーナショナル・ミニマムからレー
ン・メイトナー・モデルへ-, 進化経済学会 第
14 回大会 大阪大会, 四天王寺大学, 2010
年 3 月 28 日

〔図書〕(計 1 件)

江里口拓, 『福祉国家の効率と制御ーウェブ
夫妻の経済思想ー』, 昭和堂, 2008 年, 244
ページ

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

〔その他〕